

戸田市生涯学習推進ビジョン

(令和8年度～令和12年度)

3つの“わ”でみんな輝く とだ
～学びの輪^わ、市民の和^わ、支えの環^わ～

戸田市教育委員会事務局 生涯学習課

I. ビジョン策定の趣旨・目的	1
II. ビジョンの位置づけ	2
III. 戸田市の生涯学習状況の分析	
第5次戸田市生涯学習推進計画（令和3年度～令和7年度）の評価より…①	3
市民意識調査、生涯学習に関するアンケート結果より…②	6
児童生徒の意見発表の結果より…③	7
①②③を踏まえた今後の生涯学習推進に向けた課題まとめ	9
IV. 目指す将来像	10
V. ビジョン	
ビジョン1	12
ビジョン2	14
ビジョン3	16

I. ビジョン策定の趣旨・目的

趣旨 生涯学習※の理念に基づき、本市の生涯学習を推進するための**基本的な考え方や方向性**を示す。

目的 **誰もが（戸田市で暮らす全ての人）**生涯学習の実践者、推進者となり、生涯の学びを通じて**人生を豊かにし、よりよい地域づくり**につなげていく。

※生涯学習とは

人々が自己の充実・啓発や生活向上のために、自らの意思に基づいて行うことを基本とし、必要に応じて自分に適した手段・方法を選んで、生涯を通じて行う学習。生活の課題を解決するための学びや趣味や教養を深める学び、学んで得た知識や技能を活かして地域・社会のために役立てる活動も含まれる。

（学校教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育等様々な場や機会で行う学習）

講座の受講のような学習のみならず、読書や、スポーツ・レクリエーション活動、ボランティア活動、文化活動 等あらゆる活動が生涯学習といえる。

生涯学習

社会教育
による学習

学校教育
による学習

家庭教育
による学習

自己学習
(その他の学習)

II. ビジョンの位置づけ

本ビジョンの位置づけ

国の「第4期教育振興基本計画」及び「埼玉県生涯学習推進指針」並びに本市諸計画との**整合性を図り**ながら、市民、関係団体、関係課や**多様な主体と連携**して生涯学習を推進していく。

国の動向（第4期教育振興基本計画）

2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手や日本社会に根差したウェルビーイングの向上を目指し、多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂、生涯学び活躍できる環境整備、地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進等の目標を掲げている。

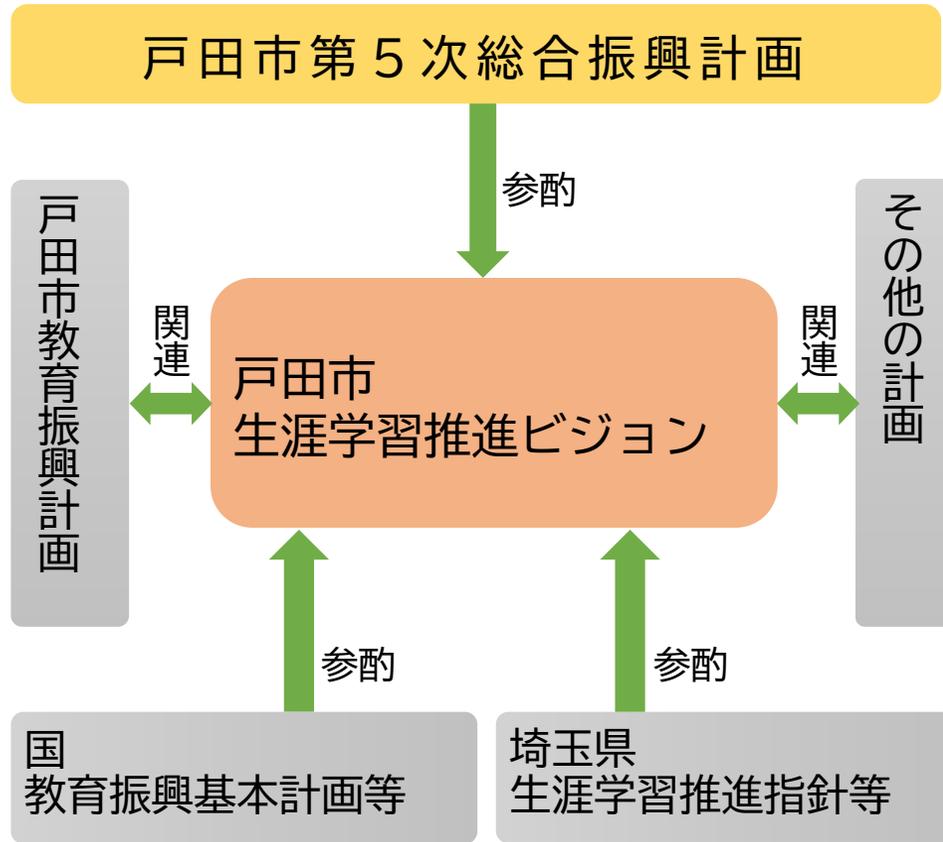
埼玉県の動向（埼玉県生涯学習推進指針）

「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の目標のもと、市町村においては関係機関との連携やICTの活用により、多様な学習ニーズや課題に対応するために必要な学びと機会を提供することが求められている。

戸田市第5次総合振興計画

【施策5 生涯学習活動の推進】市民の誰もが生涯にわたって自ら主体的に学び、自己実現を図ることができるよう、市民協働による生涯学習環境の構築を目指す。

<ビジョンから見た各計画等との関係>



第5次戸田市生涯学習推進計画（令和3年度～令和7年度）の評価より…①

▶ 各取組の9割以上を「達成」と評価

基本方針1 新たな自分に出会う ～学びのキッカケづくり～

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ～ライフステージや多様なニーズに応じた学びの提供～

基本方針3 まちを元気に ～学びの成果の活用と交流の仕組みづくり～

現状(成果)

- ・市民大学アーカイブズ（動画配信）の開設
- ・オンデマンド講座の実施
- ・新規講座の実施（とだ学）
- ・SNSによる情報発信の強化

課題

- ・市民大学アーカイブズの充実
- ・オンデマンド講座の充実
- ・生涯学習をより身近にするための情報発信
- ・社会教育施設や関係課と連携した学習情報の提供

第5次戸田市生涯学習推進計画（令和3年度～令和7年度）の評価より…①

▶ 各取組の9割以上を「達成」と評価

基本方針1 新たな自分に出会う ～学びのキッカケづくり～

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ～ライフステージや多様なニーズに応じた学びの提供～

基本方針3 まちを元気に ～学びの成果の活用と交流の仕組みづくり～

現状(成果)

- ・ 講座テーマの工夫（多文化共生や人権課題を学ぶ仕掛けの設定）
- ・ 講座アンケートを活用し、ニーズを捉えた講座テーマを設定
- ・ 公民館シニア向け連続講座のリニューアル（市民大学・公民館人生100年応援コース）
- ・ 優良公民館表彰等の評価の獲得

課題

- ・ 働き世代の事業への参加促進
- ・ 学習者同士のコミュニケーションの促進
- ・ 学習成果を活かす場の情報提供の促進

第5次戸田市生涯学習推進計画（令和3年度～令和7年度）の評価より…①

▶ 各取組の9割以上を「達成」と評価

基本方針1 新たな自分に出会う ～学びのキッカケづくり～

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ～ライフステージや多様なニーズに応じた学びの提供～

基本方針3 まちを元気に ～学びの成果の活用と交流の仕組みづくり～

現状(成果)

- ・ 地域を知る講座の新設、拡充（とだ学、地域人材を活用した講座）
- ・ 公民館まつりにおける児童生徒の作品展示の実施
- ・ 「まちづくり出前講座」オンライン版の運用

課題

- ・ 「戸田市生涯学習人材バンク」登録、活用の促進
- ・ 個人や仲間での学習を継続するための伴走支援
- ・ 学び合う人たちのつながりづくり
- ・ 学びが循環していくしかけを設けた講座の設定

Ⅲ. 戸田市の生涯学習状況の分析

市民意識調査、生涯学習に関するアンケートの結果より…②

- ▶ 生涯学習活動している市民の割合が低い
(生涯学習の実施について、「活動している」が 24.0% 【令和5年度 市民意識調査（以下、意識調査）】)
- ▶ 生涯学習に関連する取組の市民ニーズは高い
(公共施設のサービスの充足率、「生涯学習等の学びができる」について「足りていない」が65.6% 【意識調査】)
(求める公共施設のサービスとして、生涯学習に関連する項目が複数挙げられている 【意識調査】)
- ▶ 「生涯学習」と「仲間づくり、学び合い」のイメージが結びついていない
(「生涯学習」のイメージ「仲間をつくり、互いに学び高めあうこと」15.3%
【令和6年度 生涯学習に関するアンケート】)

Ⅲ. 戸田市の生涯学習状況の分析

児童生徒の意見発表の結果より…③

- ▶ 学校外での生涯学習活動について、子供から多様な願いやニーズがある
(【令和7年度 児童生徒の意見発表】)

(質問)

学校以外での学びや活動（スポーツや音楽、読書など自分の好きなことや興味のあること）について、もっとうなったらいいなと思うアイデアを教えてください。

(回答)

- ・ 習い事や地域クラブなどで取り組んでいるものをいろいろなところで披露できるようにし、地域の人たちにも見てもらいたい。(戸田第一小学校)
- ・ 自分の得意や好きを生かしたり発表できる機会がもっと欲しい。(戸田第二小学校)
- ・ 地域の方に昔の事や伝統などを教えてもらいながら交流できる場所、ちょっとだけスポーツや学習について教えてもらえる場所があったら嬉しい。(新曽小学校)
- ・ 放課後、地域の人に勉強を教えてもらえる場所がほしい。(戸田東小学校)
- ・ 「戸田市で音楽フェスティバル開催」を提案します。(新曽北小学校)
- ・ 放課後に月に一度催事を開催したい。(芦原小学校)
- ・ 文化部による地域参加型文化祭を開催したい。(戸田東中学校)
- ・ 近くに友達と勉強できる施設が欲しい。(美笹中学校)
- ・ 社会で必要になる知識を学べる場所を増やしてほしい。(株やコミュニケーション、金銭関係など)(喜沢中学校)

⇒これらの回答から、子供は自己表現の機会や地域との繋がり、実用的な学びの場を求めていることが伺えた。

Ⅲ. 戸田市の生涯学習状況の分析

(参考)戸田市こども版パブリック・コメント、こども若者意見ポスト

▶ その他の子供を対象とした調査でも③と同様の意見が見られた。

- ・ 公民館の講座やイベントに参加したことある割合 17.0%
【令和6年度 戸田市こども版パブリック・コメント(以下、こどもパブコメ)】 (回答数29件)
- ・ 子供の生涯学習という言葉の認知度、「はい」10.3% 【こどもパブコメ】)
- ・ 子供の公民館の認知度、「知っている」47.2% 【こどもパブコメ】)
- ・ 【令和7年度 こども若者意見ポスト】結果 (回答数32件)

<設問>	
新たにチャレンジしてみたいこと、やってみたいことはどんなことですか。(複数選択可)	%
1 図書館や公民館など地域で行われる学びや活動に参加する	29%
2 スポーツ(水泳やサッカーなど)に関する活動に参加する	16%
3 スポーツ以外(合唱や英会話など)に関する活動に参加する	13%
4 地域の大人と一緒に学んだり活動したりする	22%
5 自分が学んだことや、身に着けたことを友達や地域の人に発表する	16%
6 1~5に当てはまるものがない(7に書いてください)	4%
7 自由記述	
もっと友達と遊べる場所を増やしたい。	
みんなで放課後勉強会をしたい。	
ボール遊びができる公園を増やしてほしい。	

⇒子供は地域社会との繋がりを持ちながら、様々な形で自己成長や活動の機会を求めていることが伺えた。



Ⅲ. 戸田市の生涯学習状況の分析

①②③を踏まえた今後の生涯学習推進に向けた課題まとめ

- ・ 第5次生涯学習推進計画による取組は概ね達成しているものの、市民にとっては生涯学習の認知度や、自身が生涯学習活動を行っているという実感が低い。
- ・ 学習や活動への市民ニーズはあるが実行まで至っておらず、行政の発信する情報が十分に行き届いていない。
- ・ 「生涯学習」の理念や、生涯学習に関する活動の目標・目的を市民と共有していく必要がある。
- ・ 学習成果をいかす機会へのニーズもあり、学びと活動の好循環を促進していく必要がある。

ビジョン策定に向けた準備として実施した社会教育委員有志による意見交換会や、これまでの社会教育委員会議の内容等も踏まえ、以下の視点で目指す将来像（キャッチフレーズと目指す姿）を設定する。

■ 「生涯学習」をもっと身近なものにする

市民にわかりやすくなるよう「生涯学習」という言葉を、「学びや活動」に置き換え、学習や読書、スポーツ・レクリエーション活動、ボランティア活動、文化活動等 あらゆる活動を生涯学習活動として捉えられるよう、市民と共通理解を図る。

■ 生涯学習を担う人材を育成する

子供から高齢者まで誰もが市民の生涯学習を進める担い手になるように仕掛けていく。
地域で活躍する人材の育成、発掘、サークルや活動団体の活躍の場を広げていく。

■ 学びや活動が循環する仕組みづくりをする

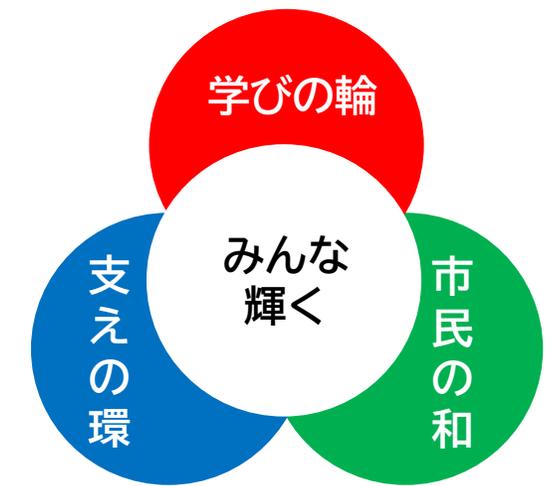
学びや活動で得た成果をよりよい地域づくりにいかす。
自ら課題を見つけ、他者と新たなアイデアを共に考え、行動する仕組みづくりを行う。

IV. 目指す将来像

得られた視点を踏まえ、以下の将来像（キャッチフレーズと目指す姿）を目指す。

キャッチフレーズ

『3つの“わ”でみんな輝く とだ
～^わ学びの輪、^わ市民の和、^わ支えの環～』



目指す姿

●^わ学びの輪 – **学びや活動により、人生を豊かにする市民**

誰もが学びや活動を通して、楽しみを知るとともに自分の世界を広げ、暮らしの質を高め人生を豊かにする。

●^わ市民の和 – **学びや活動が紡ぐ、市民のつながり**

個人の学びや活動から出発し、誰もが学びや活動を共にする仲間を見つける。

様々な価値観を知り、認め合い、自他共に成長する。

ゆるやかなコミュニティを形成していくことで自分たちの居場所をつくっていく。

学びや活動を通じて、つながりが形成、拡大される。

●^わ支えの環 – **成果やスキルをいかして、支え合う市民**

誰もが地域や社会の課題を共有し合い、学びや活動から得た知識やスキルを人や地域のためにいかしていく。

支え合いにより地域が活性化していく。

重なり合う 赤+緑+青=白

 **みんな輝く – 誰もが自分らしさを発揮し、いきいきとした戸田市**

V. ビジョン

目指す姿の実現には、市が実施する生涯学習支援策だけでなく、市民・団体・企業等様々な主体が連携・協働し、学びと活動を循環させていくことが重要です。そこで、市民の視点で市民とビジョンを共有し、市民と共に目指す姿に到達することを目指します。

● ビジョン1 学びや活動に挑戦してみる！



● ビジョン2 市民同士でゆるやかにつながってみる！



● ビジョン3 知識やスキルを地域でいかしてみる！



 3つの “わ” でみんな輝く とだへ！

(赤+緑+青=白)

●ビジョン1 学びや活動に挑戦してみる！

<ビジョン1による変化>

市民の学びや活動へのニーズが実行に結び付き、人生が豊かになります。

<市の取組>

- ・ 学びや活動に取り組むきっかけとなる場や機会を広げます。
- ・ 様々な主体と連携・協働することで、学びや活動の選択肢を広げ、自分に合った学びを選択可能にします。
- ・ 市民の学び直しや学びの継続を支援します。

<具体例>

・戦略的な広報の実施

広報紙やインターネット等、様々な広報媒体を活用した積極的な情報提供により、学びや活動のきっかけにつなげる。

・戸田市民大学の内容の充実

様々な考えや価値観に触れられ、互いを高め合い、楽しく居心地の良い場としていくことで、学びや活動のきっかけとする。また、いつでも・どこでも・誰でも学ぶことができるようオンデマンド受講を併用したハイブリッド講座の提供や市民大学アーカイブズの充実させる。

・市民ニーズや社会の要請に合わせた講座等の提供

社会教育施設(公民館や図書館、郷土博物館、彩湖自然学習センターなど)をはじめとした市内の関連施設において、市民のニーズや社会の要請に合わせた内容の講座等を提供する。

・「学習の記録」の活用促進

個人や団体の学びの成果を見える化し、今後の学習計画機会につなげていく。

・親子向けや子供向け講座等の充実

親子向けや子供向けの講座等を実施することで、学びや活動のきっかけを充実させる。

・各種スポーツ・文化教室や多様なテーマの出前講座等の充実

各種スポーツ・文化教室の実施や、防災や環境、健康といった多様なテーマの出前講座の機会の充実により、自分に合った学びを選択可能にする。

●ビジョン2 市民同士でゆるやかにつながってみる！

<ビジョン2による変化>

学びや活動を通じた、ゆるやかなつながりが生まれます。

<市の取組>

- ・ 学習情報とそれを必要とする人をつなげ、新たな学びとの出会いの機会を増やします。
- ・ 学びを通じた多世代のゆるやかな関係づくりの場を増やします。
- ・ 地域コミュニティに着目した事業の展開を促進し、他者や地域に目を向ける機運を高めます。
- ・ サークルや活動団体の育成促進を行います。

<具体例>

- ・参加者同士の交流を促進
行政、学校、地域等が連携し、多世代交流や地域に目を向ける仕掛けを設けていく。
- ・コミュニティ・スクール等の地域・学校連携によるつながりの促進
コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することで、子供の学びと活動の支援により地域と学校がつながる仕掛けを設けていく。
- ・社会教育人材の活用の促進
社会教育主事や社会教育士等の社会教育人材を有効に活用することで、学習者同士の交流や提供されている学習情報と必要とする人をつなげるコーディネート機能の充実をはかる。
- ・社会教育施設をはじめとした市内公共施設の利活用促進
コミュニティセンター等の多世代が交流できる施設の利活用を促進することで、多世代のゆるやかな関係づくりにつなげる。

など

●ビジョン3 知識やスキルを地域でいかしてみる！

<ビジョン3による変化>

学びや活動を通して得た知識やスキルが活用され、支え合いにより地域が活性化します。

<市の取組>

- ・ 学びや活動で習得した知識を、人や地域のためにいかせる地域人材を発掘・育成します。
- ・ 学びや活動の情報提供により、地域人材の更なる活動機会をつくります。
- ・ 学習成果をいかして活躍する人の学びと活動の好循環を推進していきます。

<具体例>

- ・ 地域人材の活用の促進
「戸田市生涯学習人材バンク」や「市民企画講座」企画等を通して、地域人材の活用促進や、知識やスキルをいかす市民の伴走支援を行う。
- ・ ボランティア・市民活動支援センター等の多様な主体との連携
ボランティアのマッチングを実施している機関と連携し、知識やスキルをいかすチャンスを増やす。
- ・ 知識やスキルをいかすことにつながる講習等の実施
学びの成果を活用できる講習等を提供することで、市民が知識やスキルをいかしたいと思うきっかけを提供する。
- ・ 学習成果を活用するきっかけの提供
講座や企画の受講者が終了後、ボランティアとしての参加を促す等、学びと活動が循環するきっかけを提供する。

など



戸田市生涯学習推進ビジョン

令和8年3月発行

編集・発行 戸田市教育委員会 生涯学習課
〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号
電話 048-441-1800 (代表)
メール kyo-syogaigaku@city.toda.saitama.jp